

# 「日本一のしばふ校庭」なんつる しばふだいひゃっか 芝生大百科 2年生用

年 組 氏 名

## 夏しばと冬しばで1年中みどりの校てい

日本一のしばふ校てい「なんつる」の校ていは1年中みどり色です。それにはひみつがあるのです。じつは、なんつるの校ていにはえているしばふには2しゅるいのしばふがあるのです。

夏（4月～11月ごろ）みどり色なのが夏しばです。冬ははが茶色になってお休みします。冬（10月～8月）みどり色なのが冬しばです。東京では、夏の一番あついとき、冬芝はかれてしんでしまいます。そこで、毎年、10月に新しく冬しばのたねをまいてそだてています。つまり、校ていの上をおおっている夏しばがお休みして茶色のときに、冬しばが夏しばの間に入ってそだっているので1年中みどりの校ていになっているのです。

なんつるの「夏しば」は外国のしばふ「バミューダグラス」なかまの「ティフトン」というひんしゅです。ティフトンはスポーツをする競技場（きょうぎじょう）でつかわれているしゅるいのしばふで、はがやわらかく、しばふに足や手がこすれてもいたくありません。

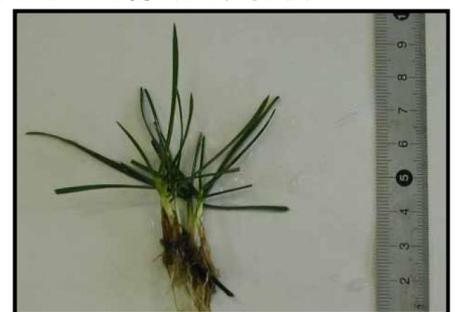
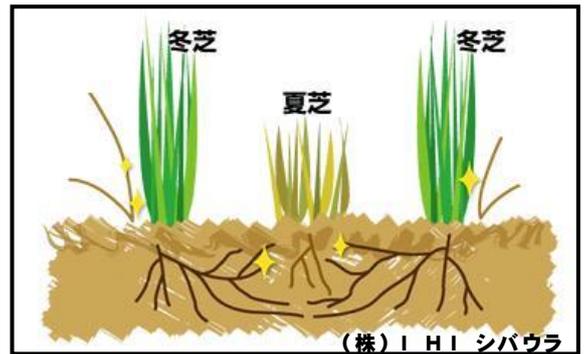
「夏しば」は、くきが地めんの中をよこにのびてそだちます。

「冬しば」も外国のしばふです。「ペレニアルライグラス」のなかまの「ソプラノ」というひんしゅです。牛や馬が食べるぼく草のなかまです。「冬しば」は上にのびて、株（かぶ＝くきのねもと）がなん本も分れて、たばのようになること。）になってそだちます。

春のうんどう会（うんどうかい）のとき、みどり色のじゅうたんになっているのは「冬しば」です。秋のエコスポまつりのとき、こいみみどり色のじゅうたんになっているのが「夏しば」です。6月と10月の工事（こうじ）で入れかわりがはじまりますが、6月、7月、10月、11月は「夏しば」「冬しば」のりょう方のみどり色のしばふを見ることができます。

夏しばの上に冬しばを育てているのは、1年中みどり色のしばふ校ていにするためだけではありません。夏しばが休んでいる冬の間、夏しばをふみつけると、夏しばはすりきれて、いたんでしまいます。しかし、夏しばの上に冬しばがあると、夏しばをまもってくれるので、春になってあたたかくなったときに、夏しばはすぐに元気になってのびることができます。

10月、夏しばの上に冬しばのたねをまきます。たねからめが出たばかりの赤ちゃん冬しばは、まだ、細くて弱いので、足でふんでおれてしまうとしんでしまいます。そこで、たねをまいたあと、やく1か月の間、校ていに入ることができなくなります。



# マイ「しばふ」をつくろう!

夏しばのなえをうえたり、夏しばや冬しばのたねをまいたりして自分だけのマイ「しばふ」を育てることができます。ちようせんしてみてください。

10月の校ていの工事（冬しばのオーバーシーディング）と同じマイ「しばふ」づくりをれいにしてせつめいしましょう。



**はじめに、**しばをうえるペットボトルをじゅんびします。2リットルくらいのペットボトルを下から10cmのところできります。ペットボトルのそこに、キリや千まい通しで、水を通すあなを20～30かしょあけます。

**つぎに、**ペットボトルの中に、しばふ校ていと同じすなを入れます。すなを入れたらペットボトルを地めんにとんとんとたたきながら入れます。上から2cmまで入れます。

**それから、**夏しばをペットボトルにうえます。そのためには、まず、きり出した夏しばのねをあらって、ねのまわりについている赤土をおとします。水を入れたバケツの中であらいます。ねをあらった夏しばをペットボトルの上において、ギュッとおしこみます。夏しばがすなからういていないかどうか大人の人にかくにんしてもらいましょう。

そして、夏しばの上に冬しばのたねをまきます。かたよりがないように50つぶくらいまきます。たくさんまきすぎると、よくそだちません。少なくてまくことがこつです。

たねをまいたら、たねの上にもうすくすなをまきます。5mmくらいです。

**さいごに、**きりふきで水をやります。上から20回やります。うえおわったら、水を1cmくらい入れたバットやうえきばちのうけざらなどにおきます。ペットボトルは、できるたけ日のあたるばしょにおきましょう。



## うえたあとのせわ（水やり）

たねからめが出るまでは、朝、昼、下校前にきりふきで10回ずつ水をやります。うけざらの水がなくなったら1cmくらい入れます。

4日くらいたつとめが出ます。めが出て1週間は同じように水やりを続けます。その後は、朝と帰りにきりふきで10回ずつ水をやります。うけざらの水も金曜日の帰りにだけ入れるようにします。

## うえたあとのせわ（しばかり）

しばが5cmよりのびたら、はさみで切ってしばかりをします。1週間に1回か2回、芝刈りをしましょう。いつも、しばの高さが5cmくらいになるように切ります。しばははの先を切るとどんどん元気になります。ぼうぼうにのびてしまう前に切らなくてはなりません。切ったはがペットボトルの上におちないように、ペットボトルをななめにもって切ることがこつです。

## 校ていにもうえられるよ!

2か月そだてたら、みんながそだてたマイ「しばふ」をうえることができます。自分たちがそだてたしばふを校ていにもうえるかどうか、先生とそうだんしてください。